

日本語学ゼミ／桜庭佳菜(学生の声)

はじめに

人が話す言葉(方言や共通語)のしくみを総合的に捉える方法を学びます。対面調査などを通して発音、単語の構成、文中の単語の順序、文と文脈の関係、歴史的変化などに迫ります。

言葉を学ぶことで 地域への理解も深まる

中学生のころから小説が好きで、文章に触れることができる文化資源学コースを選びました。今は日本語学ゼミに所属し、言語の仕組みや方言について勉強しています。慣れ親しんでいる言葉でも分析すると知らないことばかりで、新たな側面を知ることができるのが面白いです。私も学術的なことは意識せずに津軽弁を使っていましたが、方言の法則や論理を理解してからは、日常生活で言葉に触れるのがより楽しくなりました。

文化資源学コースの中では日本語学や日本文学、日本美術や考古学など、多様な分野を学べます。私も最初はあまり興味がなかったのですが、やってみると面白い授業がたくさんありました。学びたい分野が定まらなくても、自分の可能性に出会えると思うし、日本や青森といった自分の住む地域について理解を深められるのが魅力だと感じています。